

平成 3 0 年度
周辺環境モニタリング計画
(案)

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所

福島第二原子力発電所

目 次

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所 周辺環境モニタリング計画	1～4
---	-----

東京電力ホールディングス株式会社 福島第二原子力発電所 周辺環境モニタリング計画	5～8
---	-----

福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の 測定値の取扱い方法	9
--------------------------------------	---

平成30年度
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所
周辺環境モニタリング計画

1. 測定目的

原子力発電所周辺の環境放射能の測定を実施し、発電所からの新たな放射性物質の追加放出の監視等を行うと共に、これらの情報を広く地域の方々へ提供することで、安全・安心に応えることを目的とする。

2. 測定項目

(1) 空間放射線

測定項目	測定地点数		頻度	主な目的
空間線量率	発電所敷地境界付近	8地点	連続	発電所からの放射性物質の追加放出監視等
空間積算線量	発電所敷地境界付近	8地点	4回/年 (3カ月積算)	周辺環境における空間放射線の状況把握等
	浪江町	2地点		
	双葉町	3地点		
	大熊町	6地点		
	富岡町	2地点		

(注) 測定地点は福島第一原子力発電所環境モニタリング地点図の通り。

(2) 環境試料

No	試料名	測定地点数	測定項目	頻度	主な目的
1	大気 浮遊じん	発電所敷地境界付近 合計：2地点	全アルファ放射能 全ベータ放射能	連続*	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所からの放射性物質追加放出の監視 ・周辺環境における放射性物質蓄積状況の把握 ・周辺環境における放射線レベル変動把握
			ガンマ線放出核種濃度	12回/年	
2	土壌	発電所敷地内 発電所構外 合計：4地点	ガンマ線放出核種濃度	2回/年	
			放射性ストロンチウム濃度 プルトニウム濃度 アメリシウム濃度 キュリウム濃度	1回/年	
3	海水	発電所周辺海域 合計：3地点	ガンマ線放出核種濃度 トリチウム濃度	4回/年	
			放射性ストロンチウム濃度	1回/年	
4	海底土	発電所周辺海域 合計：2地点	ガンマ線放出核種濃度	4回/年	
			放射性ストロンチウム濃度	1回/年	
5	松葉 (指標植物)	発電所敷地境界付近 合計：2地点	ガンマ線放出核種濃度	4回/年	

(注) *：6時間連続集じん・6時間放置後測定。

測定地点は福島第一原子力発電所環境モニタリング地点図の通り。

3. 測定地点等

(1) 空間放射線

ア. 空間線量率

(ア) モニタリングポストによる測定

No	地点の名称	所 在 地
1	MP-1	東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所敷地境界付近
5	5	
8	MP-8	

イ. 空間積算線量

No	地点の名称	所 在 地
1	MP-1	東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所敷地境界付近
5	5	
8	MP-8	
9	双葉町 郡山塚ノ腰	双葉町大字郡山字塚ノ腰25
10	双葉町 長塚鬼木	双葉町大字長塚字鬼木1
11	双葉町 山田西郷内	双葉町大字山田字西郷内83
12	大熊町 夫沢中央台	大熊町大字夫沢字中央台223
13	大熊町 役場	大熊町大字下野上字大野634
14	大熊町 小入野東大和久	大熊町大字小入野字東大和久52
15	大熊町 熊川緑ヶ丘	大熊町大字熊川字緑ヶ丘10-2
16	大熊町 熊川久麻川	大熊町大字熊川字久麻川35
17	浪江町 北棚塩総合集会所	浪江町大字棚塩字北棚64
18	浪江町 川添中上ノ原	浪江町大字川添字中上ノ原168-49
19	大熊町 野上湯の神	大熊町大字野上字湯の神12-1
20	富岡町 新福島変電所	富岡町大字上手岡字大木戸川原97-3
21	富岡町 東京電力西原寮	富岡町大字仏浜字西原159-1

(2) 環境試料

ア. 大気浮遊じん

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	MP-3	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 敷地境界付近	全 α 全 β γ 核種
2	MP-8	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 敷地境界付近	

イ. 土壌

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	敷地内	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 敷地内	γ 核種 Sr Pu Am Cm
2	大熊町 下野上	大熊町大字下野上字大野	
3	大熊町 熊川	大熊町大字熊川字寺下	
4	双葉町 郡山	双葉町大字郡山字本風呂	

ウ. 海水

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	取水口	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 取水口	γ 核種 ^3H Sr
2	南放水口	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 南放水口	
3	北放水口	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 北放水口	

エ. 海底土

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	南放水口	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 南放水口	γ 核種 Sr
2	北放水口	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 北放水口	

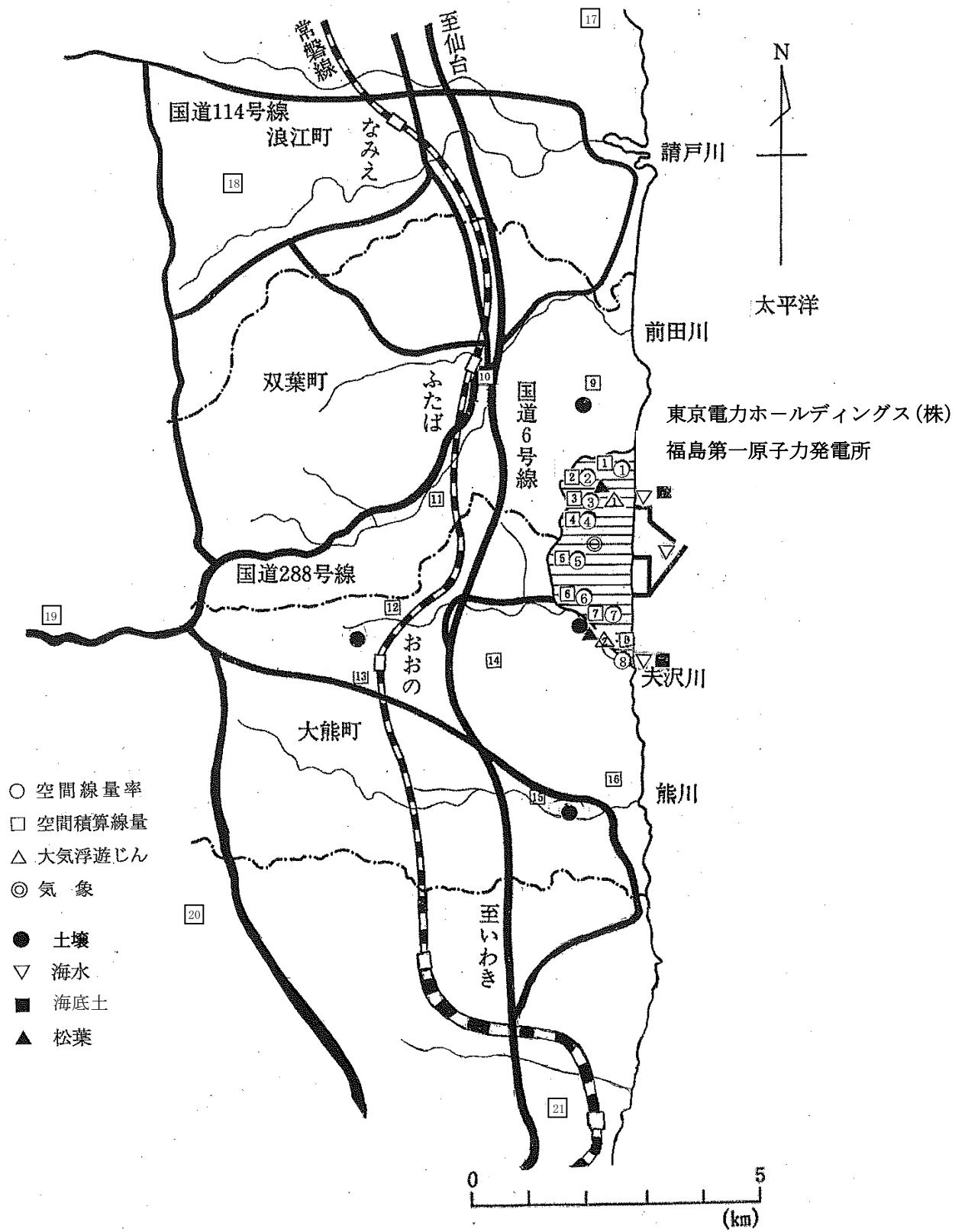
オ. 松葉(指標植物)

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	MP-3 付近	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 敷地境界付近	γ 核種
2	環境管理棟 付近	東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 敷地境界付近	

尚、測定地点配置は、別図福島第一原子力発電所環境モニタリング地点図に示すとおりである。

(注) γ 核種：ガンマ線放出核種濃度、 ^3H ：トリチウム濃度、全 α ：全アルファ放射能、全 β ：全ベータ放射能
Sr：放射性ストロンチウム濃度(対象核種： ^{90}Sr)、Pu：プルトニウム濃度(対象核種： ^{238}Pu 、 $^{239+240}\text{Pu}$)
Am：アメリシウム濃度(対象核種： ^{241}Am)、Cm：キュリウム濃度(対象核種： ^{244}Cm)

福島第一原子力発電所 環境モニタリング地点図



平成30年度

東京電力ホールディングス株式会社 福島第二原子力発電所

周辺環境モニタリング計画

1. 測定の目的

原子力発電所周辺の環境放射能の測定を実施し、発電所からの新たな放射性物質の追加放出の監視等を行うと共に、これらの情報を広く地域の方々へ提供することで、安全・安心に応えることを目的とする。

2. 測定項目

(1) 空間放射線

測定項目	測定地点数		頻度	主な目的
空間線量率	発電所敷地境界付近	7地点	連続	発電所からの放射性物質の追加放出監視等
空間積算線量	発電所敷地境界付近	7地点	4回/年 (3カ月積算)	周辺環境における空間放射線の状況把握等
	富岡町	8地点*		
	檜葉町	5地点		

(注) * : 8地点中2地点については福島第一原子力発電所による測定。
測定地点は福島第二原子力発電所環境モニタリング地点図の通り。

(2) 環境試料

No	試料名	測定地点数	測定項目	頻度	主な目的
1	大気 浮遊じん	発電所 敷地境界付近 合計：2地点	全アルファ放射能 全ベータ放射能	連続*	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所からの放射性物質追加放出の監視 ・周辺環境における放射性物質蓄積状況の把握 ・周辺環境における放射線レベル変動把握
			ガンマ線放出核種濃度	12回/年	
2	土壌	発電所敷地内 発電所構外 合計：4地点	ガンマ線放出核種濃度	2回/年	
			放射性ストロンチウム濃度 プルトニウム濃度 アメリカシウム濃度 キュリウム濃度	1回/年	
			ガンマ線放出核種濃度 トリチウム濃度	4回/年	
3	海水	発電所周辺海域 合計：3地点	放射性ストロンチウム濃度	1回/年	
			ガンマ線放出核種濃度	4回/年	
4	海底土	発電所周辺海域 合計：2地点	ガンマ線放出核種濃度	4回/年	
			放射性ストロンチウム濃度	1回/年	
5	松葉 (指標植物)	発電所 敷地境界付近 合計：2地点	ガンマ線放出核種濃度	4回/年	

(注) * : 6時間連続集じん・6時間放置後測定
測定地点は福島第二原子力発電所環境モニタリング地点図の通り。

3. 測定地点等

(1) 空間放射線

ア. 空間線量率

(ア) モニタリングポストによる測定

No	地点の名称	所在地
1	MP-1	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所敷地境界付近
5	5	
7	MP-7	

イ. 空間積算線量

No	地点の名称	所在地
1	MP-1	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所敷地境界付近
5	5	
7	MP-7	
8	富岡町 小 浜	富岡町小浜452-3
9	富岡町 富岡第一中学校	富岡町大字小浜字中央237-2
10	富岡町 上の町 社宅	富岡町大字小浜字中央464
11	富岡町 上郡山 清水	富岡町大字上郡山清水144
12	富岡町 上郡山 上郡	富岡町大字上郡山字上郡60
13	檜葉町 上 繁岡 山根	檜葉町大字上繁岡字山根83-2
14	檜葉町 井出 浄光 東	檜葉町大字井出字浄光東27-12
15	檜葉町 下 繁岡 一丁 坪	檜葉町大字下繁岡字一丁坪34
16	富岡町 上郡山 岩井 戸	富岡町大字上郡山字岩井戸160
17	檜葉町 井出 八石	檜葉町大字井出字八石73
18	檜葉町 檜葉 中 学校	檜葉町大字井出字鐘突堂4

(2) 環境試料

ア. 大気浮遊じん

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	MP-1	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 敷地境界付近	全 α 全 β γ 核種
2	MP-7	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 敷地境界付近	

イ. 土壌

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	敷地内	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 敷地内	γ 核種 Sr Pu Am Cm
2	楢葉町波倉	楢葉町大字波倉字原	
3	富岡町小浜	富岡町小浜	
4	富岡町下郡山	富岡町大字下郡山字真壁	

ウ. 海水

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	取水口	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 取水口	γ 核種 ^3H Sr
2	南放水口	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 南放水口	
3	北放水口	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 北放水口	

エ. 海底土

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	南放水口	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 南放水口	γ 核種 Sr
2	北放水口	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 北放水口	

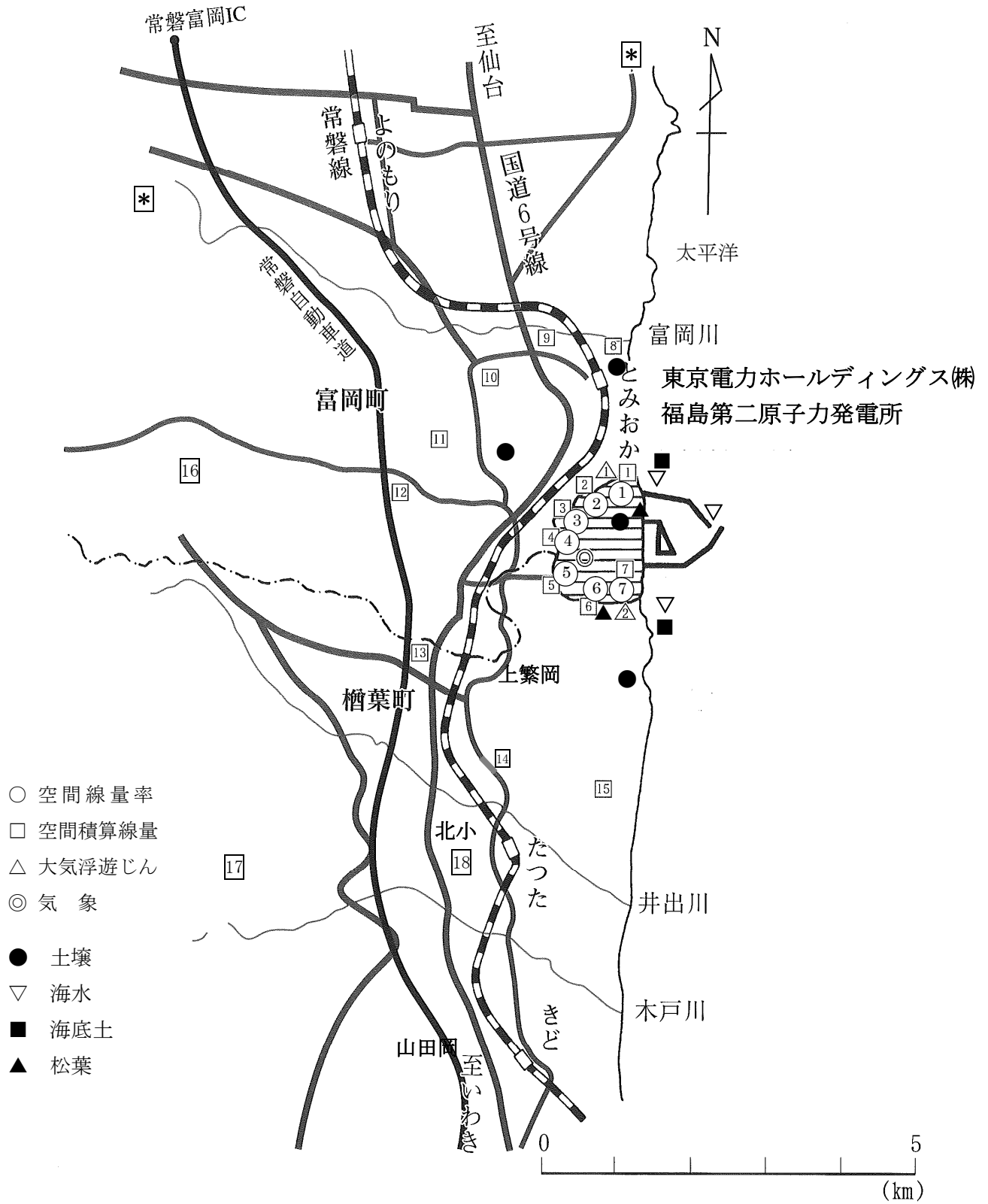
オ. 松葉(指標植物)

No	地点の名称	採取地	測定項目
1	敷地の南境界付近	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 敷地境界付近	γ 核種
2	敷地の北境界付近	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所 敷地境界付近	

尚, 測定地点配置は, 別図福島第二原子力発電所環境モニタリング地点図に示すとおりである。

(注) γ 核種: ガンマ線放出核種濃度, ^3H : トリチウム濃度, 全 α : 全アルファ放射能, 全 β : 全ベータ放射能
Sr: 放射性ストロンチウム濃度(対象核種: ^{90}Sr), Pu: プルトニウム濃度(対象核種: ^{238}Pu , $^{239+240}\text{Pu}$)
Am: アメリシウム濃度(対象核種: ^{241}Am), Cm: キュリウム濃度(対象核種: ^{244}Cm)

福島第二原子力発電所 環境モニタリング地点図



(注) 空間積算線量における*印の地点は、福島第一原子力発電所による測定地点である。

福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の測定値の取扱い方法

測定値は、次のとおり取扱うこととする。

項目・試料名		単位	測定値の取扱い	
空間放射線	空間線量率	n Gy / h	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平均値は、1時間値の測定値の和を測定値の数で除して求める。 ・ 最大値は、1時間値の最も大きな値とする。 ・ 表示は、整数とし少数第1位を四捨五入する。 	
	空間積算線量	m Gy	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四半期ごとの測定値、90日換算値及び年間（365日）として求める。 ・ 表示は、少数第2位を限度とする。 	
環境試料	全α全β放射能	大気浮遊じん	Bq / m ³	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平均値は、6時間値の測定値の和を測定値の数で除して求める。 ・ 最大値は、6時間値の最も大きな値とする。 ・ 表示は、少数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。
	核種濃度	大気浮遊じん	mBq / m ³	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、少数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。
		土壌	Bq / kg 乾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、少数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。
		海水	Bq / l	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、少数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。 ・ トリチウム濃度は、少数第2位を限度とする。
		海底土	Bq / kg 乾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、少数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。
	松葉 (指標植物)	Bq / kg 生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、少数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。 	

(注) 核種濃度の検出限界値は、 $3 \times \sigma$ とし、検出限界値未満の測定値については、「ND」と表示する。
ただし、「 σ 」は係数誤差とする。